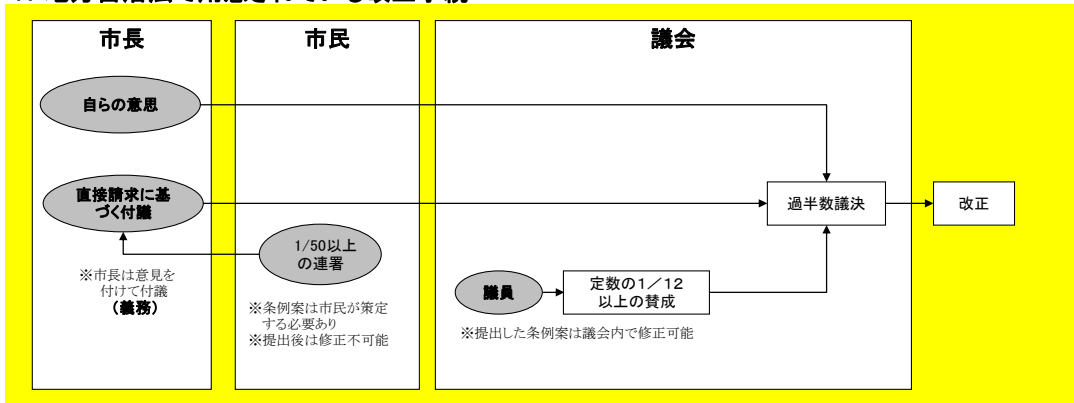


自治基本条例の改正手続に係る「オプション」の検討

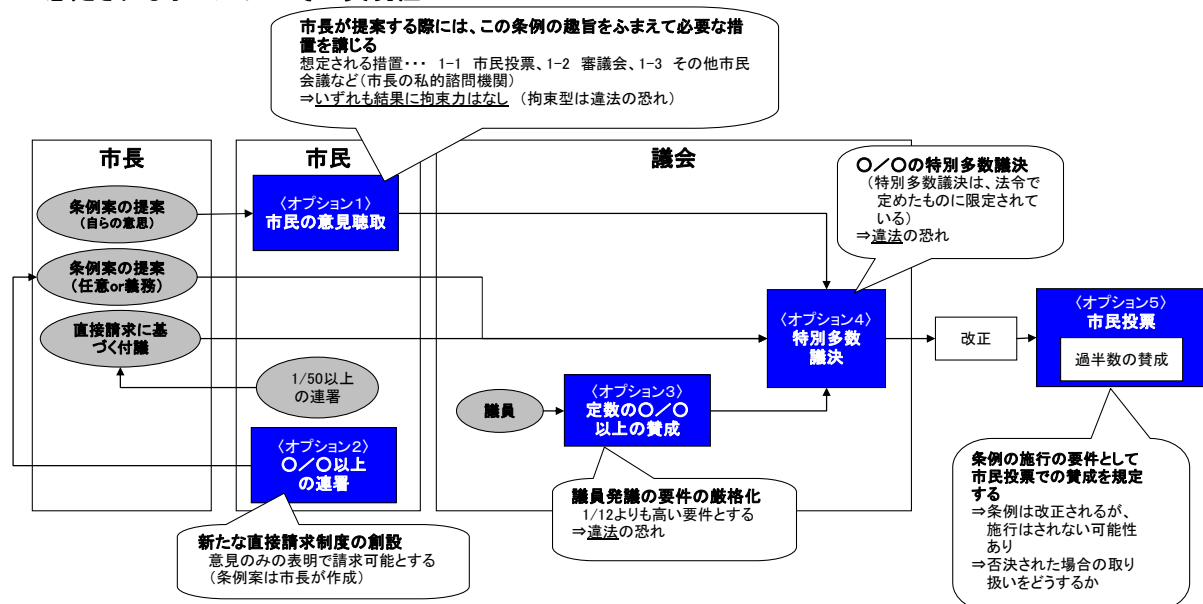
発議

議決

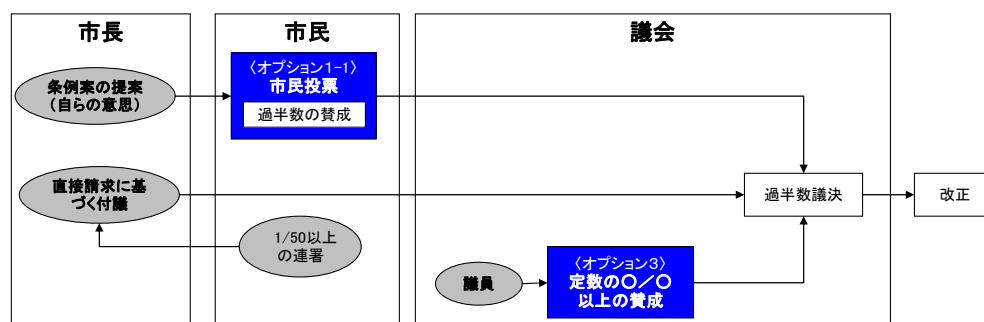
1. 地方自治法で用意されている改正手続



2. 想定されるオプションとその実現性



3. 現在のたたき台 (オプション1-1, 3) ... 市議会自治基本問題調査特別委員会との意見交換会でのたたき台



4. 議論のポイント

論点1: 先に整理した、自治基本条例の考え方をふまえ、下記の観点から新たなオプションを導入する必要があるか。また、各オプションの内容をどうするか。

- ①最高規範性との関わり
- ②主権者(市民)の意思確認の関わり
- ③コスト面での実現性
- ④現行法規との関連性からの実現性
- ⑤運用面での実現性

論点2: 新たなオプションを導入する場合、市長・市民・議員(議会)の「発議権」及び「議決権」の変動及び相互のバランスがどのように保たれるか

又ハ世にハノヘをコノオノにせんが。